



一般社団法人かずさ青年会議所10月第一例会

SIM かずさ 2030

～ 自分たちの地域の未来について考えよう ～



●開催日:2017年10月14日(土)

●開始 17:00～

●会場:市民活動支援センター

きさらづみらいラボ
木更津市中央1-1-6両総通運ビル内

TEL:0438-53-7070

<http://k-mirailabo.com/>

例会終了後は、懇親会を行います。
奮ってご参加下さい。

お待ちしております!!

このままFAXしてください

FAX申し込み

FAX : 0438-37-2605

参加者名		年齢	
勤務先 (団体名)		役職	
住所		TEL	

お問い合わせ 一般社団法人かずさ青年会議所 事務局

千葉県木更津市請西1-19-7 TEL : 0438-36-2609 / 090-2201-3883 担当 : 原 (はら)

SIMかずさ2030とは？

“かずさ市”という名の架空都市の市役所職員（各局長）となり、5～6名のチームで協力しながら2015年から2030年まで、未来の自治体経営及び運営をシミュレーション体験するゲーム（参加者で楽しむワークショップ）です。

近未来の人口減少社会や超高齢化社会を背景に、税収減、社会保障費の増といった厳しい制約条件を抱えつつ、地域の未来を切り拓いていくための地方自治体の運営を誰もが遊び感覚で体験できます。

ゲームのオリジナル版「SIM熊本2030」は、熊本県庁の自主活動グループ【くまもとSMILEネット】により2014年に開発され、現在、全国の各地方版が次々と生まれています。

「SIMかずさ2030」は、オリジナル版のゲームシステムに、架空都市としてちばの特色を織り交ぜて開発された内容になっています。

【このゲームで得られるもの】

- ・未来を見据える力（将来の社会、自治体経営を体感する）
- ・立場を超える対話力（チームで課題解決に立ち向かう）
- ・まちづくり力（目指すまちのために何を取舍選択するか）
- ・自治体経営力（公共分野を担う行政の意思決定を学ぶ）



【シミュレーションゲームの流れ】

- ① 5～6名で1チームとするチーム編成を行う。（受付時に強制割り振り）
- ② 市長（運営スタッフ）から大元の方針となる訓示が伝えられた後、健康福祉部長・総務財政部長などの役職が各参加者に言い渡される辞令式を行う。
- ③ 「高齢者対策事業」「防犯街灯整備事業」など、各部署ごとの事業名が書かれたカードが各チーム担当局長に配布され、さらに「港整備事業」など全員で実施を検討する事業カードがチームに配布される。設定された予算ではすべての事業を実施することはできないため、何を実施して何を廃止するのかチームで話し合う。
- ④ 業の中には投資的要素や危機回避的なものもあり、選択によっては後々収益を生み出して予算が増える。
- ⑤ ゲームは5年ごとの区切りで行われ、2015→2020、2020→2025、2025→2030の3ターン行われる。
- ⑥ ターンの終わりごとに議員役（運営スタッフ）が各チームの判断内容を聞き、説明内容から各事業の実施／廃止について承認するかどうか決める。
- ⑦ 予算が足りなくなった場合は地方債発行（借金）となる。（ゲームオーバーはない）
- ⑧ 3ターン目後半には、新規事業を企画してもらうコーナーを設け、さらにその時点まで残した事業と新規事業から、特徴となるキャッチフレーズも考えてもらう。また、事業内容とキャッチフレーズを各チーム発表してもらう。
- ⑨ 新規事業内容などから市長役が優勝を決める。ただし、そこまで勝ち負けを意識するゲームではない。